

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

12月号 2018. 12. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

啓発活動

アクアラインマラソンで他団体とのコラボ 10月21日(日)

4回目の活動となる今大会では「骨髓バンクランナーズ」の会のランナー(鳥井さん、長谷川さん)と同会の埼玉在住者(伊藤さん、南さん)とコラボで行うことになり、「ゆりの里会場」、「木更津市民会館会場」の2箇所で、応援と普及啓発、説明会を行いました。天気も良く活動は大変、有意義でした。尚、千葉の参加者は15人、説明受講者は4名でした。

◆鳥井さんの投稿(注：鳥井さんは年齢別(53歳)で1位となり表彰されました)
北海道から参加する私には、普通は沿道からの応援はありません。でも、骨髓バンクのタスキをかけて走るだけで、沿道から「骨髓バンク頑張れ！」の声援をいただき、それだけでも十分励まされていたのですが、今回のちばアクアラインマラソンでは、地元千葉と埼玉の方々が骨髓バンクの幟を立てて応援していただけることになりました。走っていて、あの黄色の幟はとても良く見えます。そして、そこを目標にすることにより、本来の自分の力以上の走りが出てきます。そう、まるでホームコースを走っている感覚、それを地元以外で味わうことが出来ました。

マラソンランナーは、前を走っている人の背中を見続けます。私のタスキを見て走った方が、黄色の幟を見て更に骨髓バンクに関心を持っていただければ・・・。そんな気持ちでこれからも走り続けます。

◆南さんの投稿
埼玉の南です。私は59歳の6月、成人T細胞白血病を発症して余命6ヶ月を宣告されて緊急入院しました。白血病は骨髓移植しか治る見込みは無いとの主治医の勧めで抗癌剤治療開始と同時に骨髓バンクに患者登録しました。幸運にも9月にはドナー決定の朗報！移植後はGVHDに苦しみながらも翌年2月には退院。その3年目には東京マラソン移植者枠10kmを完走しました。現在、私が健常者と何ら変わり無く生かされているのは骨髓バンクやドナーさんのお陰と感謝の気持ちは一日も忘れた事は有りません！今は毎年各地の市民マラソンに参加しています。

今回のアクアラインマラソンでは、千葉の会に合流して、骨髓バンクの普及啓発、ランナーの応援に参加しました。また来年3月の東京マラソン10kmに挑戦します。来年70歳を迎える私ですが、今後も骨髓バンクPR活動に頑張ります!!



骨髓バンクのタスキをつけ力走する鳥井さん



応援に応える長谷川さん



骨髓バンクランナーズの参加者(右から2人目から南さん、伊藤さん、長谷川さん)



説明会の様子

演劇「友情」での普及啓発 10月13日(土)

千葉市民会館で開催された骨髓バンクドナーキャンペーン演劇「友情」に千葉の会から7名が参加し、普及啓発を行いました。開演を前に17:30に会場入口で私たちはケア帽子をかぶり、来場者にギフトオブライフを手渡し「骨髓バンクをよろしく」と声をかけました。チケットは完売でしたが、立見でよければということで「友情」を見せてもらいました。

劇中では白血病の説明も詳しく語られ、主人公のあゆみを思い、クラスメートが皆頭を刺ったことには皆さん感動されたと思いました。医師役で友情出演された熊谷俊人千葉市長が終演後の挨拶で、ドナー登録への呼びかけと千葉市はドナー助成制度もありますと話され、素晴らしい千秋楽公演となりました。

帰りの通路では公演を終えたばかりの頭を丸めた生徒たちがバンクの募金箱を持ち呼びかけをされたので、沢山の募金がありました。私たちもチャンスを持ち声をかけ、多くの若い方に受け取ってもらえました。(山本栄)



姉ヶ崎駅ギャラリーでのパネル展 10月1日(月)～9日(火)

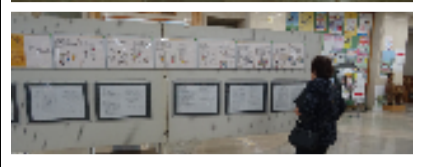
骨髓バンク推進月間の10月、まずは地元の皆さんに「骨髓バンク」って何？を知ってもらいたかったことがパネル展開催の動機です。常日頃から市民の皆さんがドナー登録会でもあまりにも基本的なことを知らなすぎる、関心がないことを痛感していました。ここ姉ヶ崎は工場勤務や高校生が多いので、多くの方に「命を引き継ぐ」ことに関心をもってもらえればとJR姉ヶ崎駅のギャラリーを借りて、骨髓バンクの活動紹介や中川翔子など有名人の支援メッセージ、患者にやさしいケア帽子の展示など飾ってみました。気になったので毎日のように様子を見に行きましたが、大勢の方に見ていただいているようでした。特にチャンスが15部もなくなっていたり、開催の確認電話があったりと手ごたえがありました。次回も別の場所での開催を考えたいと思っています。(西島隆)



山武市役所での「いのちの輝き展」 10月31日(水)～11月7日(木)

山武市では、骨髓バンクの普及啓発を目的として、千葉骨髓バンク推進連絡会にご協力いただき、市役所1階ロビーで「いのちの輝き展」を開催いたしました。骨髓移植を受けた方、受けられなかった方の絵画や書、骨髓移植を受けた方と骨髓提供者ドナーの方との手紙を展示しました。足を止めてパネルに見入っている方も多く、中には広報をご覧になりわざわざ足を運んでくださった方もいらっしゃいました。

今回のパネル展でも展示していただきました「マモ、心のメッセージ」を千葉骨髓バンク推進連絡会より寄贈いただき、成東図書館にて展示を継続し、骨髓バンクへの登録を呼びかけています。また、骨髓等を提供していただいた市民の方には7日を上限に、1日2万円、事業者様には1日1万円の助成を行っています。できる限り多くのいのちを救うため、1人でも多くの方に骨髓移植に興味を持ってもらいやすい、そして移植に協力しやすい環境を継続してつくっていきたくと思います。(山武市 健康支援課 齋藤)



登録会報告

白井市ふるさと祭り 10月21日(日) 説明員：柴谷

お天気が良すぎて暑かったが、時折冷たい風が吹き気持ちの良い、白井市公園の一日でした。午後、親子(母と息子)で登録された方の息子さんは、18歳でしたがとても18歳には見えなお二人に説明の時に、もしかしてご主人さんですかと声掛けしたら、息子ですと言われビックリしました。母親曰く「良くそう言われます」と話されました。皆様迷わず直ぐ登録されました。会場には市職員の方が休憩コーナーのテーブルにチャンス、ギフト、BANK!BANK!、成田「コンサートと落語会」のチラシを置いて下さり、またポスターも厚紙で裏打ちされてテントポールに貼ってあり感謝の気持ちでいっぱいになりました。チラシを持っていかれたおばさん、ポスターをじっと見ているおじさん、おばさん方がいらっしゃいました。チケットを持参していれば、チケット有り则表示ができたのに残念・・・・・・・・(柴谷)



イオンタウンユーカリが丘 11月11日(日) 説明員 山本栄

この会場での登録会は、初めてでした。会場ホールは、他の登録会場より少し奥まった場所を感じました。日曜日でしたが日赤奉仕団も活動され、佐倉市の社会福祉課の担当男性の方も見え、登録者の人数を聞いたり、会場の様子を見回っていらっしゃいました。日赤さんの声かけもあり、説明の方を案内してくれました。付き添いで来られた方は、時間があるのでと説明を聞いて行かれました。自ら説明の席に来られたもう一人の方は、年齢オーバーで残念でした。本日は登録会が3か所で実施され、日赤さんに預けてある登録会用資材は、2カ所分しかないので、この会場は自前資材を山本が持参しましたが、日赤さんの手違いで預けてある資材の茶色バックが来ていました。日赤さんが早速取りに見えましたので、自前資材を他会場(JR新浦安駅)へ届けて頂きました。(山本栄)



我孫子市鳥の博物館 11月18日(日) 説明員：柴谷、高橋(ボランティア)

我孫子市のイベント「うなぎちカップ」の会場「水の館」2階での併行登録会でした。「うなぎちカップ」は2回目で1チーム3~10名で会場の決められたコースを10時から15時まで5時間走り続ける耐久レース。献血は走った後でなければ出来ません。市役所職員さんも何チームか参加していたそうです。日赤さんから20名の登録予約がありますと連絡が入りましたので、当日社会福祉課担当の方に経緯を伺ったら全職員にドナー登録のお願いのメール(庁舎内アドレス)を出し、その後個別に電話をして約20名のお返事を頂いたとのことでした。(献血は50名予約)このような働きがあり初めて当会場での献血併行登録会が実施されたのでした。ご担当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。それだけに職員さんの登録が6名だったのは残念でした。イベント時間と献血受付、登録受付時間について我孫子市と日赤さんでもう少し打ち合わせて欲しかったと思いました。受付が16時までだったらと残念な気持ちで帰りました。翌日日赤の担当から電話で登録人数について状況等の問い合わせがありました。尚、我孫子市のご担当は成田コンサートに来てくださり「とても素敵な催しものですね。精進料理も美味しかったです」と話されました。(柴谷)



我孫子市職員さん



高橋さん

登録会報告	10月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員
中央学院大学	2日(火)	2	5	円東克典
我孫子市役所	4日(木)	1	2	円東克典
ユニモちはら台	8日(月)	6	3	北村美和子 久永幸子
柏献血ルーム	8日(月)	10	1	柴谷みち子
船橋献血ルームフェイス	10日(水)	3	1	北村美和子
市原市役所	12日(金)	2	0	西島隆史 西島一恵
野田市役所(産業まつり)	13日(土)	0	2	戸辺信晴
野田市役所(産業まつり)	14日(日)	0	3	戸辺信晴
津田沼献血ルーム	16日(火)	2	1	志田和子 溝口理文
流通経済大学新松戸キャンパス	17日(水)	5	4	柴谷みち子
モノレールちば駅献血ルーム	17日(水)	6	3	北村美和子 円東克典
匝瑳市ふれあいセンター	18日(木)	1	3	山本 栄
イオンモール成田	20日(土)	1	2	北村美和子
白井市保健センタ(ふるさと祭り)	21日(日)	8	3	柴谷みち子
イオンモール成田	21日(日)	2	6	山本 栄
東庄町役場	22日(月)	2	1	北村美和子
君津市保健福祉センター	23日(火)	2	0	西島隆史 西島一恵
順天堂大学さくらキャンパス	24日(水)	1	12	円東克典
松戸献血ルーム	24日(水)	3	3	柴谷みち子
浦安市役所	26日(金)	5	2	西島隆史 西島一恵
JR新浦安駅	27日(土)	1	2	尾木成子 円東克典
イオンモール幕張副都心	28日(日)	2	0	石橋和記
四街道市役所	29日(月)	0	1	山本 栄
多古町役場	31日(水)	4	4	北村美和子
横芝光町町民会館	31日(水)	2	1	久永幸子
合計		71	65	

登録会報告	11月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員
いすみ大原保健センター	2日(金)	2	1	北村美和子
館山市役所	2日(金)	6	6	西島隆史 西島一恵
八街市役所	6日(火)	5	0	北村美和子 溝口理文
東京大学柏キャンパス	7日(水)	1	2	円東克典
JR新浦安駅	9日(金)	2	2	円東克典
東邦大学	9日(金)	0	0	尾木成子
陸沢農村環境改善センター	28日(水)	0	0	久永幸子
フルガーデン八千代	11日(日)	3	2	尾木成子
イオンタウンユーカリが丘	11日(日)	2	2	山本栄
JR新浦安駅	11日(日)	0	3	志田和子
茂原市保健センター	12日(月)	5	1	北村美和子 久永幸子
津田沼献血ルーム	13日(火)	3	5	山本栄
我孫子市鳥の博物館	18日(日)	9	0	柴谷みち子
横芝光町町民会館	18日(日)	3	0	久永幸子
旭保健センター	20日(火)	4	0	北村美和子
銚子市保健福祉センター	20日(火)	2	1	山本栄
船橋フェイス献血ルーム	21日(水)	1	1	山口智子
九十九里町保健センター	22日(木)	1	5	久永幸子
君津市保健福祉センター	22日(木)	4	1	西島隆史 西島一恵
モノレールちば駅献血ルーム	22日(木)	2	1	溝口理文
イオンモール千葉ニュータウン	23日(金・祝)	1	1	石橋和記 山口智子
柏献血ルーム	23日(金・祝)	6	1	柴谷みち子
千葉大学	27日(火)	6	1	山本栄 志田和子
千葉工業大学津田沼キャンパス	28日(水)	4	6	尾木成子
千葉大学	28日(水)	3	2	山本栄
松戸献血ルーム	28日(水)	2	0	柴谷みち子
袖ヶ浦市保健センター	29日(木)	2	0	円東克典
千葉大学	29日(木)	5	3	山口智子
千葉大学	30日(金)	15	2	西島隆史 西島一恵
茂原市中央公民館	30日(金)	1	0	柴谷みち子
合計		100	46	

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナーさんが移植に向けての不安に対応します。

(認定特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

骨髄バンクチャリティ コンサートと落語会報告 11月10日(土)

今年も11月10日(土)に市川團十郎丈ゆかりの地、成田市で「コンサートと落語会」を開催しました。参加者は197名と盛況裡に終わることができました。今年、落語を二人演者とし、コンサートもピアノを加えました。ピアノ三重奏にと何れもバージョンアップして実施しました。お客様には十二分にご堪能頂けたことと思います。演奏の間には、骨髄バンクミニトークも開催し、骨髄バンクへのご理解を深めて頂きました。午前中は曇でしたが午後からは晴れて成田山新勝寺様での御護摩修行、精進料理(勝ちごぼう)、成田山公園の紅葉狩り・菊花展の鑑賞、商店街の散策・うなぎの食事などもお楽しみ頂けたと思います。精進料理には74名の方が参加しました。(梅田)



関根成田市副市長のご挨拶



柳家寿伴さんの落語



桂右女助師匠の落語



骨髄バンクミニトーク
(山本幸恵さん、山本弘之さん)



ピアノ三重奏(三戸素子さん、高田匡隆さん、小澤洋介さん)

東京雪祭 11月10日(土)、11日(日)

通常のイベントは、通常は献血併行登録会などの日赤さんとの共同事業が多いのですが、このイベントは骨髄ドナー登録を直接呼び掛けている、その発信力にある。多くの若者が積極的に参加し、毎年新たな人たちに呼びかけた結果、毎年登録者は100名を超え、今年は117名に達している。(献血者238名)2日間のイベントとしては脅威的で増加傾向にあることも素晴らしい。その原動力は元患者の荒井さんとその奥様の活躍によるもので、だれもが認めているところです。イベントは人工雪で作られたミニゲレンデでプロのスノーボーダーによる競技や子供たちのスノー体験教室、屋外ステージではバンド演奏、ドナー提供経験者らのトークショーなどが行われ、イベント会場周辺では協賛店による出店など多彩な催しで観客を楽しませてくれている。東京の会中心に千葉、埼玉、神奈川の説明員を加えた、ドナー登録受付体制で夕方まで汗だくの嬉しい献血併行登録会になりました。(西島隆)



千葉県経営者協会様に骨髄移植ドナー休暇制度導入を依頼

皆様のご支援ご協力によりお陰様でドナー登録者は、現在全国で約49万人となりました。しかし骨髄移植を必要とする患者さんの約6割しか、実際の移植は行われていない状況が続いています。この理由として、ドナーは提供までに7日前後の通院・入院が必要になるため、休暇を取らなければならない事情があり、これが大きな要因と考えられます。そこで全国的に提供しやすい社会環境整備が進められています。千葉県に於きましても現在20市町村において、骨髄提供者並びに提供者に休暇を与えた事業者に助成を行う制度(注1)が制定されました。助成制度を導入した市町村に、県がその1/2を補助するこの制度で大きく前進しました。これら助成制度制定と共に、千葉県では県知事名で事業者の皆様へドナー休暇制度導入の依頼をしております。当会としても、事業者に対する助成制度が導入されたこともあり、事業者の皆様へ、このお願いをしていくことに致しました。千葉県経営者協会様に、会員の皆様へ休暇制度の導入を周知、推奨して頂くようお願いしましたところ、月刊の協会誌11月号にこの主旨が掲載されました。掲載の文書は省略させていただきますが、県業務課にて原案を作成して頂き、経営者協会様と当会で協議したもので、上記前半の内容が要旨となっています。(注1)20市町村のうち3市においては現在、提供者に対する助成のみです。詳しくは各市町村の制度をご参照ください。(溝口)

千葉県内のドナー助成制度導入状況

1. 千葉県内の最近5年間の骨髄提供者数

平成29年度: 52人
平成28年度: 47人
平成27年度: 43人
平成26年度: 55人
平成25年度: 55人

概ね人口約12万人当たり
1人の提供者となります。

2. 関東7都県の骨髄バンク・ドナー助成制度導入状況

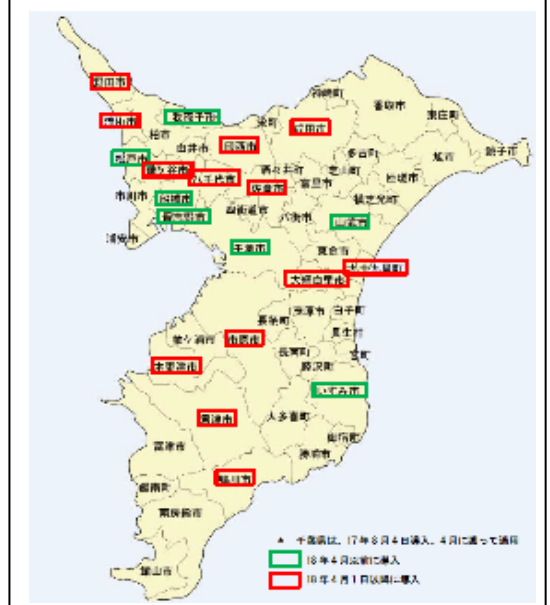
平成30年11月15日現在

	市町村数	ドナー助成制度 導入数	導入率 (%)	県の補助制度導入時期
1 埼玉県	63	全市町村	100	平成26年度から
2 栃木県	25	18	72	平成29年度から
3 東京都	62(23区含む)	41	66	平成27年度から
4 茨城県	44	28	64	平成28年度から
5 群馬県	35	19	54	平成28年度から
6 千葉県	54	20	37	平成29年度から
7 神奈川県	33	5	15	平成30年度から

(注) 全国では426市区町村が導入

千葉県市町村 ドナー助成制度導入地図

54市町村中20で導入 導入率37%



日本骨髄バンクと千葉県登録者数最新情報 (2018年10月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	492,332	+3,461	+12,366	15,347	+151	+876
累計患者登録者数	59,019	+465	+2,289	2,136	+16	+99
累計移植例数	22,508	+193	+1,201	721	+8	+47

白血病闘病記③ ～ 再発そして再移植 ～ 北村 勉

平成29年4月、定期検診で全く予想していなかった再発がわかりました。1度目の移植から丸4年を目前にした時でした。体調も良く、普通に仕事もしていましたので、信じがたい出来事でした。大変ショックを受けましたが、最初の発病の時より不安や動揺はありませんでした。それは移植を受けてから4年の間で白血病の事や骨髄バンクの事を色々な機会に学んできたからです。少しは知識もつき、医療情報も知る事ができた事で、病気に対する対応や心構えができたことが良かったと思います。

治療方針が再移植と決まり、5月に骨髄バンクに再びの患者登録を行い、提供者が見つかる事を毎日祈るような気持ちで待ちました。そして本当に有難いことに7月に最終同意のお知らせを受けました。8月上旬、2度目の造血幹細胞移植を受けることが出来ました。1度ならず2度までも命を救って頂きました。ドナー様、医療関係者、骨髄バンク、友人、妻に感謝いたします。

この体験を今後、少しでも人の役にたてるよう生きていけたらと決意致しました。

こいこいの 宇宙と地球の随想記 2ND シーズン「風の巻」 第5回 天気予報の作り方 ～ “曇りのち晴れ” は計算結果～

「明日の関東地方は、穏やかに晴れるでしょう。」今日も、テレビから天気予報の声が聞こえてきます。このような気象予報は、気象庁の職員や気象予報士が、空を眺めながら作っているのでしょうか。

気象台やアメダスでの地上観測のほか、バルーンを飛ばして行う高層気象観測やレーダー観測、さらには、「ひまわり8号」による気象衛星観測などにより、さまざまな気象データが集められます。そして、これらのデータは、一度気象庁のコンピュータに集められて整理され、「数値予報」という手法で計算にかけられます。数値予報では、地球の大気を水平20km、垂直1km程度の箱に分割し、その中で起きる日射、蒸発、雲の発生、降水、風などの現象を方程式に当てはめて計算します。そして、元の状態の5分後、さらに5分後・・・という具合に、未来の状態を予想し、それを天気図の形に表していくのです。

最後に、予報官や気象予報士の手が入ります。データを実際の天気や“翻訳”するのは、人間の仕事です。長年の経験をもとにコンピュータの予想を修正したり、地域ごとの“癖”を加味したりして、実際の予報を作り上げるのです。天気予報は、技術の産物であると同時に、人間の経験が生きているのです。(H.K.)



山崎さんイラスト

今後 (12～1月) の予定 (お知らせ)

ドナー登録会

・ 鋸南町役場保健福祉センター	12月10日 (月)
・ 日大生産工学部	12月11日 (火)
・ 香取市佐原中央公民館	12月11日 (火)
・ 日大生産工学部	12月12日 (水)
・ 津田沼献血ルーム	12月12日 (水)
・ 大網白里保健センター	12月13日 (木)
・ 鎌ヶ谷市役所	12月14日 (金)
・ 市川市役所	12月14日 (金)
・ 柏献血ルーム	12月16日 (日)
・ 船橋市役所	12月17日 (月)
・ 四街道市役所	12月18日 (火)
・ 一宮町保健センター	12月19日 (水)
・ 茂原市中央公民館	12月19日 (水)
・ モノレールちば駅献血ルーム	12月19日 (水)
・ 長生村保健センター	12月21日 (金)
・ イオンタウン木更津朝日	12月22日 (土)
・ 大多喜町役場	12月26日 (水)
・ 我孫子市役所	12月27日 (木)
・ 白井市役所保健センター	12月27日 (木)
・ 八街市役所総合保健福祉センター	12月27日 (木)
・ 野田市役所	12月28日 (金)
・ 成田市役所	12月28日 (金)
・ 千葉県庁	12月28日 (金)

イベント

- ・ 箱根駅伝での普及啓発 1月2日(水)～3日(木)

定例会

日時 1月6日(日)、2月3日(日) 14時00分～
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

ここからのご寄付、ありがとうございます。

アクアラインマラソン募金	2,250円
なんそう薬局様	2,000円
稲葉様	1,000円
星野陽一様	2,000円
栗原やす子様	7,000円
コンサートと落語会募金	25,542円
リサイクルショップ フレーム 久永幸子様	21,673円

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

<編集後記>

今年も多くの方にご来場頂いた「コンサートと落語会」。毎年、精進料理を頂戴していますが、先日「イチオシ!ちばめし」として、名物、匝瑳市大浦地区で栽培された「大浦ゴボウ」が新聞紙上で紹介されていました。現在は数軒の農家しか栽培していない貴重品で、直径が20センチほどあり、柔らかく甘い味をしみこませた逸品です。平将門の乱を鎮めた「勝ちゴボウ」の伝説が伝わる大浦ゴボウ・・・。

私たちが患者さん達の願い成就のため、今後も皆さまと一緒にドナー登録者拡大に普及啓発活動に頑張りたいと思います。(北村美)